

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術Ⅱ-1	単位 (授業時間/時間数)	1 (10/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業回数	5回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

### 授業のねらい

1. 活動の意義と必要性を理解し、体位及び体位変換(移動動作)の看護技術を習得する。
2. 睡眠・休息の意義と必要性を理解し、安楽・安眠への看護の為の看護技術を習得する。

### 授業目標

1. 姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解できる。
2. さまざまな体位とその目的を理解し、体位変換の援助を実施できる。
3. 車椅子・ストレッチャーについて移乗の援助と移送の援助を理解し実施できる。
4. 睡眠と睡眠障害、睡眠に障害をもつ患者への具体的な援助が理解できる。

### 授業概要

1. 活動・運動の意義
2. 活動・運動の生理学的メカニズム
  - 1) 運動の神経支配と骨格筋の収縮
  - 2) 体位変化とバイタルサイン
  - 3) 同一体位と体圧
3. 基本的活動の援助
  - 1) 基本的活動の基礎知識
    - (1) よい姿勢
    - (2) 日常生活動作
    - (3) ボディメカニクス
    - (4) 体位の種類

### 2) 援助の実際

- (1) 援助の基礎知識
- (2) 体位変換
- (3) 移動
- (4) 移乗・移送  
車椅子、ストレッチャー
4. 休息・睡眠の生理学的メカニズム
  - 1) 睡眠の種類
  - 2) 睡眠制御のメカニズム
5. 休息・睡眠の援助の実際
  - 1) 睡眠障害のアセスメント
  - 2) 援助方法の選択

### 授業の進め方

講義、演習

### 教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ (医学書院)  
看護技術プラクティス (学研)

### 参考図書

授業時 提示

### 評価方法

客観式テスト (30点)  
試験時間は時間数に含む。

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術Ⅱ－1	単位 (授業時間/時間数)	1 (18/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業回数	9回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

### 授業のねらい

人と環境は密接な関係にあり、生活環境の適・不適は、健康の保持・増進や療養環境に大きな影響を与える。環境には、自然そのものと人為的なものがあるが、これらは人間の身体的・精神的な発育や健康状態だけでなく、知的、道徳的、社会的側面などの生活の全てに影響を及ぼす。看護場面において、患者の療養生活の場は、治療・看護を受ける場であるとともに、食事や状況に応じて排泄をするなどの生活行動の場でもある。そのため、療養生活の場が快適な場であるように環境を整えるための知識・技術を学んで欲しい。

### 授業目標

1. 生活環境と健康に関する看護の意義について学ぶことができる
2. 生活環境と健康に関する基礎知識を学ぶことができる
3. 快適な療養環境を整える技術を習得することができる

### 授業概要

1. 生活環境と健康に関する看護の意義
2. 生活環境と健康に関する基礎知識
  - 1) 病棟の構造
  - 2) 病室内構造の構成要素
3. 環境調整のための援助の実際
  - 1) ベッド周囲と病床の環境整備
  - 2) ベッドメイキング

### 授業の進め方

講義、演習

### 教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ (医学書院)  
看護技術プラクティス (学研)

### 参考図書

### 評価方法

終講時 客観式テスト＋演習取り組み状況 (70点)  
試験時間は時間数に含む。